

事業所における自己評価結果（公表）

公表：平成31年4月1日

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
業務改善	1	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に広く職員が参画しているか	11	11		新卒の新人には行っているが、全体となると余裕がなく、未実施。今後の課題。
	2	保護者等向け評価表により把握した保護者等の意向を業務改善につなげているか	15	3	内容により、センター全体で検討が必要だが、療育内容的なものであれば早急な対応を行えている。	
	3	職員の資質向上を行うため、研修の機会は十分か	15	10	定期的な摂食研修や外部企画研修の参加が出来た。 研修後の報告会のようなものも企画し、研修内容を共有しているが、内容の精査は必要。	
適切な支援の提供	4	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析されたうえで作成された「児童発達支援計画」に沿った支援が行われているか？	27	1	ケース記録に支援契約に沿った記録をし次の支援を考えている。 机上課題では特に反映させた。 個人記録と支援計画の内容が連動している為支援計画にそった支援を行いやすい。	職員間での経験や知識の違いの幅が大きいため、担任全員ができていないと断言は出来ない。
	5	活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか	27	2	静と動のプログラムのバランスは担任間で確認している。 子どもの状態に合わせ、担任間で日々フィードバックしながらプログラムを立てている。 季節に合った活動内容を考えている。	
	6	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	28	4	ホワイトボードで子どもの出席状況の確認、バス添乗者などわかりやすいように提示している。 朝のミーティング当日の活動等確認している。	
	7	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	31	0	気付いた点や様子を伝えることはしているが、わかりやすい文書で発言することを心掛けている。 改善事項、共有事項はクラス日誌に記載し、周知できるようにしている。	
	8	日々の支援に関して記録を取ることを徹底し、支援の検証。改善につなげているか	25	1	その日のうちにひとりひとりの記録と共に1日の流れも振り返りクラスで共有している。	記録の記載の仕方次第で日記のような記録もあるため、評価の記録として残せるようにする。
	9	定期的にモニタリングをおこない、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	18	3	保護者からのモニタリング、担任の評価、また専門職の意見を含め判断している。	
関係機関との連携	10	母子保健や保育所・幼稚園等関係者や関係機関と連携した支援をおこなっているか	21	2	園訪問日を一定期間設け、担任が見に行けるように努めている。 児童相談所ケースのカンファレンス等も必要に応じ行っている。	
	11	（医療ケア児や重症心身障害児について）地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援をおこなっているか	7	8		
	12	（医療ケア児や重症心身障害児について）子どもの主治医や協力医療関係等連絡体制を整えているか。	6	8	医療ケア児について経験が足りず、対象児は診療所を通しての対応となっている。	
	13	移行支援として保育所や幼稚園、小学校等との間で支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	15	5	SWと協力しながら、幼稚園保育園や他事業所などの利用や情報共有を図っている。 退園児のフォローの為園訪問を行うケースもあり。	

保護者への説明責任等	14	事前に作成された「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明をおこない、保護者から同意を得ているか	20	2	事前に個別面談をし、保護者に聞き取りをしたうえで、説明する内容も検討し、伝えている。 保護者と個別支援計画の読み合わせをし、同意を得ている。 こどもの具体的な姿を伝え、わかりやすく伝わるよう工夫している。	
	15	運営規定、利用者負担などについて丁寧な説明をおこなっているか	12	6	通園契約時に伝え、より具体的に通園のしおりの読み合わせを初日に担任が行っている。	
	16	定期的に保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と家族支援をおこなっているか	19	3	連絡帳の活用や親子登園日に様子をみて話をする機会を設けている。 定期的に懇談会を開催し悩みが話せる環境づくりをしている。	
	17	個人情報の取り扱いに十分注意されているか	19	2	事務所のパソコン環境にも気を配り、紙ベースのものおかないよう配慮している。	互いに確認する必要はある。(職員同士の会話の内容等)
	18	親の会の活動支援や保護者会の開催等により保護者同士の連携を支援しているか	11	8	月に1回親子日の午後母子分離とし、情報交換できるような設定等の工夫を行った。 同窓会の企画等おこなう事もあった。	
	19	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	26	1	口頭で伝えるほか、連絡帳や月に1回のクラスだよりの発行等必要に応じた伝達をしている。	
非常時等の対応	20	日ごろから子どもの状況を保護者と職員とで伝えあい、子どもの健康や発達の状況、課題について共通理解が出来ているか	25	2	支援終了後、クラスの活動の振り返り時に子どもの様子がいいに保護者と個別で話した時の内容を伝えあい、共通理解を深めている。	
	21	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知されているか	16	8	配布されている緊急マニュアルは目を通して通園開始前に読み合わせをしている。 通園としての緊急マニュアルは作成中。	
	22	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練をおこなっているか	25	6	避難は実際に近い想定を取り入れている。	ヘルメットの位置、落下物の確認はもっと各クラスで備えるべき。 最新の服薬状況の確認ができていないケースのあるため、課題。
	23	事前に服薬や予防接種、てんかん発作などのこどもの状況を確認しているか。	21	5	書類に記入、ナース、担任、栄養士も含め対応している。 バス添乗の際は添乗者が確認するようにしている。	全体に職員周知が難しいので周知の確認方法を工夫する必要がある。
	24	食物アレルギーのある子どもについて医師指示書に基づく対応がされているか。	24	2	医師の指示書に基づき対応している。食事提供の際は厨房職員と口頭、書面で確認し、提供している。	
	25	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	20	7	ヒヤリハットは事務所に張り出しをし、必ず確認するようにしている。	事例集などは見たことがないため、ヒヤリハット委員の講習等も増やす必要あり。
	26	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保するなど、適切な対応がなされているか	8	12	職員同士の声の掛け合いなどで防止を心がけている。研修の参加がほとんどない。 権利擁護の研修は受けている。	
27	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分説明し、了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	11	8	計画の説明時に口頭でも保護者に説明をしている。	個別支援計画に入れているが、「組織的に決定」は不十分。	

○この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。

